



さ ら ん べ

砂蘭部



北海道八雲養護学校

令和元年度 学校便り 第6号

令和元年 12月25日(水)発行

題字イラストは児童生徒が作成しました。

北海道八雲養護学校は、独立行政法人国立病院機構八雲病院に隣接した、病弱の児童生徒を主に教育する特別支援学校です。

二学期を振り返って

八雲養護学校 教頭 池田 英司

令和元年も残すところあとわずかとなりました。八雲もすっかり冬景色となり厳しい冬の始まりを感じるころです。八雲では、道内でも早い段階でインフルエンザが流行し、児童生徒を始め、全教職員も気を付けているころです。

さて、2学期の学校生活を振り返ってみると、いろいろなことがあったことを思い出します。八雲で行う最後の「学校祭」と「感謝式」がありました。小・中学部、高等部のそれぞれのステージ発表では、日頃行っている学習の成果と短い練習の中で頑張った成果が大いに発揮できていたすばらしい発表でした。八雲で行う最後の学校祭に、全ての児童生徒が参加することができ、一人一人が力を出すことができ、参観された保護者・病院・地域の方等から大きな拍手と声援をいただくことができました。また、午後から行った「感謝式」では、本校児童生徒会代表の中村さんが、「我々が貴重な経験をする事ができたのは、八雲町の皆さんのご理解とご協力があったからです。」と感謝の気持ちを伝えることができました。「どどん鼓座」の迫力ある太鼓の演奏もすばしかったです。保護者の方には、いろいろとお手伝いをいただき本当にありがとうございました。

学部では、中学部の見学旅行、高等部の見学旅行がそれぞれありました。中学部は、新幹線に乗り、青森方面へ行きました。天候にも恵まれ、岩木山やりんご畑、展望台からの海の景色、ねぶたや遺跡と学校で学習したことを確認しながら見学することができました。どの生徒もおいしい食事を楽しみ、ホテルやタクシーの運転手の方々の優しさに触れ、最高の見学旅行でした。高等部は、東京方面へ行きました。雨に当たることはありませんでしたが、スカイツリーでは、展望台から小さく見える車や建物を見ることができましたが、一番上の展望台には雲がかかっていたため、見ることはできませんでした。それでも、自分たちが行きたい「そらまち」のお店を探し、目的を達成していました。3日目の国立科学博物館では、2つのグループに分かれて見学を行い、もの凄く大きい恐竜に驚き、たくさんの人にも驚きました。何もかもが初めての経験でしたが、たくさんいい思い出を作ることができました。

その他には、今年から開催された「ロボットプログラミング選手権」に参加しました。八雲養護学校を会場に3校4チームで1月に行われる全国大会を目指して取り組みました。本校からは、小中学部代表「SALMON」と高等部代表「北海道八雲養護学校A」が出場しました。白熱した戦いと大きな声援を受け、見事「北海道八雲養護学校A」が2位に入り、全国大会への切符を勝ち取りました。「SALMON」は残念ながら4位でしたが、最後までいい戦いを行っていました。1月に行われる全国大会が楽しみです。5月に変わった新しい年号の令和元年も終わりを迎えます。体調管理に気を付け、元気に3学期を迎えることができるよう、冬休みをお過ごしください。

1・2月の予定

1月20日(月)	3学期始業式	1月27日(金)	高等部入学者選考検査
1月24日(金)	ロボットプログラム選手権 全国大会(中継)	2月12日(月)	後期期末考査(14日まで)
		2月20日(金)	移動図書館来校



【児童生徒総会】11月22日児童生徒総会が行われました。執行部・各委員会から1年間の活動反省の発表や意見交換では、この活動をもっとやってほしい、こうしたらもっとよいのではないか、こんな活動はどうかなど、学校生活をより良くしようとたくさんの活発な意見が出されていました。12月6日からは新生徒会の活動がスタートします。今回の総会の反省や意見を生かして、今後の生徒会作りにつなげていってほしいと思います。(担当：上田)

【マナー講座】11月27日にマナー講座がありました。函館公共職業安定所の学卒ジョブサポーターの方を講師としてお招きし、社会人としてのマナー、社会人と学生の違い、テレワークの基礎知識のお話をいただきました。あかるく、いきいきと、さきに、つねに、とあいさつには隠れた意味があることを教えていただき、初めて会った人への第1印象は4秒で決まるなど、クイズ形式にして一人一人の考えを聞きながら、お話ししていただきました。翌週には第2回就労体験学習が控えていたため、大切なマナーについて改めて学んだり、確認したりする時間となりました。(担当：三条)



【就労体験学習】12月3～4日、2日間の日程で今年度2回目の就労体験学習を行いました。今回は3つのグループに分かれて学習を行いました。文書作成グループでは、遠隔システムを用いて中継し、詳細を確認しながら依頼文書を作成しました。新校章デザイングループでは、様々な図形や色を用いて工夫したり、周囲に相談したりしながら様々なデザイン案を完成させました。ポストカード作成・販売グループでは、テーマに沿ったカードを作成し、教職員に自分たちの作品を模擬販売しました。日頃の授業とは違った雰囲気の中、緊張しながらも真剣に作業に取り組む児童生徒の姿がとても印象的でした。(担当：山田)

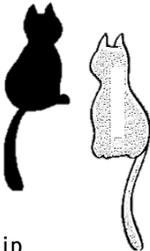
【エスポラーダ監督来校】12月18日(木)、フットサルのプロチームであるエスポラーダ北海道の小野寺隆彦監督に来校していただき、保健体育のスティックサッカーの授業を一緒に行いました。始めに監督から、フットサルの技の披露をしていただきましたが、目の前で見る、ドリブルの速さ、ボールの音やスピード感、シュートの迫力に児童生徒はとても感動していました。その後、シュート練習などのチームプレイのご指導をいただいたり、一緒に試合を行ったりしましたが、プロの監督からの指導に児童生徒は、真剣そのもの！一人一人がスティックサッカーを楽しみチームが一丸となってプレイする姿がとても印象的でした。フリータイムでは、監督に質問をしたり、サインをいただいたり、写真を撮ったりと、とても有意義な時間になりました。またぜひ遊びにいらしていただきたいですね。(担当：小野寺)



北海道八雲養護学校
～日々の様子などをウェブページで発信しています～

 [八雲養護](#) [検索](#)

〒049-3116 二海郡八雲町宮園町 128
電話 0137-62-3670 FAX 0137-62-3427
学校代表メール yakumoyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
学校ウェブページ <http://www.yakumoyougo.hokkaido-c.ed.jp>



北海道教育委員会
子ども相談支援センター
相談窓口のお知らせ

電話相談0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)
※子どもたちだけではなく、保護者の方も利用できます。

